

合唱（8）

音楽教育講座：楠 俊明

1. 授業の目的

授業の目的は、「音楽に関する職業を希望する者として、必須の教養としての合唱や合唱アンサンブルの指導法や表現方法を理解し、様々な音楽表現ができる能力を見につける。」である。

2. 授業の到達目標

- ハーモニーを感じて豊かな演奏をすることができる。
- 他者と音楽性豊かにアンサンブルを行うことができる。
- アンサンブルの楽しさを聴き手に伝えることができる。

3. 授業の位置づけ

合唱（8）は4回生7名の受講生である。しかし、合唱（2）（4）（6）と合同で開講されており、全受講生は40名を越える。そのため、4回生は他回生のリーダーとして授業の模範となるとともに、これまでのこの講座の総まとめとして活躍することを願って指導を進めている。

また、本音楽講座の学生が主催する「楽友会」の演奏会で合唱の総仕上げとして、ミュージカルを公演する。そのため、ミュージカルナンバーの合唱を仕上げていくとともに、動きやダンス等の表現も加わった活動となっている。

その公演は12月に開催されるため、それまではミュージカルナンバーの練習を中心に進め、それ以降は合唱アンサンブルの表現活動に重点を置いて授業を開講している。

4. 指導のポイントと実際

ミュージカル公演であるために、ソリストナンバーや台詞の指導も必要となってくる。ただ、この授業では、合唱部分を中心に指導を進めた。ソリストの指導は授業時間外に個別で行った。

指導は次の4つにポイントを置いて進め、発表に向けて意識を高めていった。

- ① 遠くに響く声でありながら、ハーモニーを奏でる声を目指す。
- ② 舞台での表現であるため、顔の表情をしっかりと伝えるように歌う。
- ③ 動きのある部分はその動きの必然性を感じさせて表現する。
- ④ 言葉がしっかりと伝わるように発音するとともに、その意味を伝える表現をする。

この4つのポイントをクリアするために、それぞれのナンバーの意味や価値、大切な言葉やメロディーの表現方法を考えさせながら指導を進めた。4回生であるため、できていないことを自分たちで考えさせながら、創造的に練習していく時間を大切にしたい。また、その思いを他回生に伝えながら自分たちの思いで表現することを大切にしたい。

後半の合唱アンサンブルの学習では、3人から4人のグループに分け、一人一パートの合唱を仕上げていく活動である。全員で規定曲を練習し、その中から選択させた曲と自分たちで選曲した2曲を課題として最終に発表会を行うこととした。自分のパートが一人であるため多くの技術が必要とされる。4回生が中心のグループはしっかりと発表できていた。これまでの経験とミュージカルの発表のために学習したことが役立っていた。

5. 授業時間外の学習

この授業だけでは公演にならないことを自分たちで考え、週2回程度集まって合唱の練習を進めていた。もちろん、常に全員が集まることはないが、仲間と時間を工夫して、自分だけではできない音の確認やハーモニーの取り方、動きや表情等を協力しながら学習していた。

アンサンブルの学習では、授業での練習時間では仕上がらないため、グループで集まって練習を進めていた。どのグループも2回程度集まって曲を仕上げていた。

6. 授業アンケート

授業終了後のアンケートは次のような内容であった。

ミュージカル公演の練習から

日程調整が難しかったと思います。現実的ではないかもしれませんが、単位数を増やして週に2時間の授業時間を設けると、参加率も上がって良いのではと思いました。後期の授業を履修して、ものすごく自分自身成長できて楽しかったので、ぜひ何かのコンサートを目標に授業が開かれることを望みます。

一つの行事に向けて頑張ることができました。そして、後輩と仲良くなることでよかったです。しかし、練習が多いので時間を生み出すことが大変です。

アンサンブル発表の活動から

曲の選択肢を実際の学校現場でよく用いられている曲を課題曲にしても良いのかなとも思いました。楽しめましたが、歌が苦手な者からすると結構ハードルが高かったです。

お互いの音を聞きながら歌うのは難しかったです。

公的な場で公演をするためには、授業内の学習だけでは難しい。そのために多くの時間を費やしたことが難点であった。

発表したことによって得た経験は多いが、そのための時間をどのように生み出すことができるかが大きな課題である。

学校現場での行事を考えるととても大変なことがある。子ども一人一人とのコミュニケーション、保護者との対応、全職員との相互理解、提案するまでの企画力、準備と後始末等、限りない。それを考えると苦労して得た経験は何ものにも代え難いが、時間については、十分に検討する余地があると感じた。

さらに、ミュージカル公演であるため、大道具や小道具、衣装や化粧の準備も自分たちで行ったため、11月は多忙であった。

アンサンブル活動の学習からは、選曲が適切であることを感じた。割と難しい曲を与えたが簡単な曲をしっかりと歌い上げる活動へと変更することが望ましいと感じた。

アンサンブルの発表会では互いの良さや聴評価するために評価カードを記入させた。

氏名 ()	メンバー	規定曲	自由曲
1	渡邊 今西 上野 日高	ふしぎなポケット 音リズムが不安定だった	ウルトラマンセブンの歌 曲が子ども気持ちが伝わった
2	吉田 昌中 青野 紅谷	ふしぎなポケット アーティキュレーションを付けようとして良かった	ふじ山 声質がもう少しさらさら音程も安定すると良かった
3	三好 中田 名桑 山本	I Dreamed a Dream 女声はしっかりとしていたが、男声は少し不安定な所があった	村の鍛冶屋 独特の音やリズムを楽しく表現できていた
4	國廣 小西 白木 平井	I Dreamed a Dream 音程が少し不安定だった。もう少し明るい声だと良かった	ムーミンのテーマ曲 曲を楽しんでいる様子が伝わってきた
5	板東 澤田 久保田	亡き王女のためのパヴァーヌ もう少し声をあげるともっと良い声が出ると思った	さくらさくら ソロパートももう少し上げてあげられるといい
6	松原 室津 一色	亡き王女のためのパヴァーヌ もっと口の力をたたく間	菩提樹 もう少し音量が大きい曲の雰囲気をよく表現できた

多くの学生が同じような評価を記入しており、優れた表現をしっかりと聴き取ることができた。しかしながら、何名かは曲の雰囲気だけで良いと感じていたり、人を見て良いと判断しているものがあった。聴く力を育むことが大切であると感じた。来年度への課題である。

7. 附属校とのつながり

ミュージカル公演をさらに附属校で実施できる機会を得た。毎年、附属学校の芸術文化教室の一環として公演をさせていただいている。

コミュニティーセンターのホールでの発表とは勝手が違い、照明や音響まで全て自分たちで行わなければならない。その上、小学生は面白くないとミュージカル90分間の集中力は続かない。このような条件の中で2月にミュージカルを公演することができた。

授業で学んだことを全て総動員させながら行わないと公演は成立しない。午前中は小学生に、午後は中学生に披露した。それぞれの反応が違い、興味深い公演となった。

学生達はその反応の違いに気づきながら、歌い方や間の取り方などを変化させて、上手く表現することができた。先生方からの評判も良く、「感動しました。」とお誉めの言葉をいただいた。ミュージカル公演後の小学生の評価を少し紹介する。

ミュージカルの
みなさんへ
あたいは、ライオンキングが
しかたです。楽しかったところは
みんなで、ハフナマタをうたったのが
楽しかったです。あたいは、スカーガとくに、
歌欠がじょうずだった。たのでびっくりしま
した。その歌欠は、石の上ののたり
ムイエナたちに、歌欠で、いったりす
るところです。そして、さいごに、
みんなおつにならんで、
たちしたり、手をふったりし
たのがたのしかったし、
う楽しかったです。

ミュージカルを
してくれたみなさんへ
今日は楽しいミュージカルを
ありがとうございました。
後ろでうたっていた人たちの歌が
とてもみりくできてました。道具も色々
使っていたし息もぴたりでとても
大学のみなさんがやっているととは思え
ないすごさでした。私は、シンバが
歌をうたっている間に大人のおたへ
かわっていたのが一番バにのこり
ました。とても上手なえんき
3年組
こまき

大学の先生へ
先日は、ミュージカルをしてくだ
りありがとうございました。
歌うときとてもたかい声かできてひ
くりしました。ほかにも、1人1人のツッコ
もおもしろかったです。一番びっくりしたことは、1回も
かまずにできていたこと。ぼくたちが
見ると全ぜんきんちょうしたようにはみ
えません。とてもきびたりで、歌欠もほく
では、半年以上かかります。
とてもいいミュージカルでした。
ありがとうございました。

ミュージカルをしていた
いたみなさんへ
私は、みんなの息がそろっていてすご
いな。と思いました。シンバのお父さんはとて
もか、良かったです。本物のシンバのお父さん
みたいでした。シンバが国境の向こうの所へ行て
きけたら時、助けたのがすごかったです。はんそうの
人達は、きけたたりする時は、はんそうがとんとん大
きくふたので少しはらはらしたけれど、面白かたで
す。いのしし達の会話では笑ってしまうほど面
白かたです。最後は、シンバが王様にな
って良かったです。

子どもたちは自分の思いをしっかりと伝えてくれた。音楽的なこと、内容のこと、演出のこと、全体の印象等、楽しく90分間を過ごすことができたようである。

教員を目指す学生はもちろん、他の学生にとっても貴重な経験となったことは間違いない。

8. 地域とのつながり

授業の前半の目標として活動したミュージカル公演は授業の時間を大幅に拡大して進めたが、観客への影響は多大だったと感じる。多くの観客からお誉めの言葉をいただいた。アンケートも300枚を越え、ほとんどの方々から「感動した。すばらしい。」との声であった。その中から詳しく書かれているものを紹介する。

- ・感動しました。声の重なりが素敵でした。時間の経過を忘れていました。(10代女)
- ・お芝居も歌声もよいものを見せていただきました。一人一人が個性を發揮して盛り上げていました。合唱も声が揃い、こんな生演奏で本格的なミュージカルに取り組み、ブラボーです。(70代女)
- ・演技が素晴らしくて泣きそうになりました。感動しました。そして、おもしろかったです。(20代女)
- ・ライオンの踊っているところがよかったです。(私の4歳児の声) すごく楽しかったです。この3年間来ましたが、今年が一番でした。(40代女)
- ・プロ並みの歌唱力と演技力、最高でした。熱演にブラボー！感動しました。とても幸せな気持ちになりました。ありがとうございました。(50代女)
- ・出演者、スタッフの思いが伝わってくるとても楽しくパワフルなステージ感動しました。本当にありがとう。明日からの力になりました。(50代男)
- ・ずっと泣きそうになるくらいすごかったです。本当に感動しました。(20代女)
- ・想像を超えるクオリティでした。授業の内容とは思えませんでした。みなさん楽しそうでこちらまで楽しくなりました。感動しました。(20代女)
- ・見ていてとても楽しかった！鳥肌立ちました！すごくよかったです。(10代女)
- ・アフリカを彷彿とさせる音楽が新鮮で良かった。音楽の部分が多く、よく聴くことができました。動物の衣装や造形も面白く、シンプルで良かった。(50代女)
- ・全員に役割があって、みんなで作り上げている感じがしてすごく感動しました。合唱も本当に良かったです。(30代女)

9. 終わりに

合唱の授業としてミュージカル公演を目指すことには、大きな意味があることは間違いない。しかし、そのための時間を見いだすことに大変な問題を抱えている。その点を考えながら、次年度の合唱活動を活性化していきたい。

また、授業の評価が、評価のための評価にならないように、学生との指導や支援の中で生まれてくる思いを大切にしながら、学生を育成するための評価であることを大切にしていきたい。

